

曲亭馬琴と『八犬伝』

じょう しゅう 肇輯の世界

2024年に公開された映画『八犬伝』では、曲亭馬琴が『南総里見八犬伝』(1814-1842刊)を完結させるまでの約28年にわたる生活の様子と、自身の描く作品の虚構世界とを交錯させながら物語が進行します。江戸時代に生きた馬琴という人間の苦労が様々に描かれていましたが、馬琴はどのようにこの壮大な物語を紡ぎ出したのでしょうか。本講座では、原作の内容を追いながらその創作の工夫を紐解きます。特に、物語の発端となる肇輯に焦点を当て、読者を惹きつける構成や趣向の妙を見ていきたいと思います。

第1回

8月25日(火)

安房と里見義実

『八犬伝』の冒頭、里見義実が結城合戦から逃れ、房総へと落ち延びるまでの場面を鑑賞します。

第2回

9月3日(木)

里見義実と玉梓

房総に着いた義実が金碗孝吉と出会い、山下定包・玉梓を処して房総半国を治めるまでの場面を鑑賞します。

第3回

9月8日(火)

八房と伏姫

義実の「口の過」により、息女伏姫が飼い犬の八房と「富山」で暮らすことになるまでの場面を鑑賞します。

同志社大学文学部准教授 **三宅 宏幸**(みやけ ひろゆき)

講師略歴

博士(国文学)。1984年生、大阪府出身。2007年同志社大学文学部文化学科国文学専攻卒。同志社大学大学院文学研究科国文学専攻修了。研究分野：日本近世文学。曲亭馬琴を中心に近世小説の生成や受容の研究。2020年第16回日本近世文学会賞受賞、2023年第16回日本古典文学学術賞受賞。著書『馬琴研究—読本の生成と周縁—』(汲古書院、2022年)、論文『『俊寛僧都嶋物語』試論—引用・考証・附会—』(『国語と国文学』100-11、2023年)、「曲亭馬琴と『将軍家譜』」(『いくさと物語の中世 第二集』汲古書院、2025年)など。



【会場】同志社大学東京サテライト・キャンパス
【時間】各回13:30~15:00
【受講料】1回3,000円(3回9,000円)
【お支払い】初回受付時にお支払いください
※1回からご受講いただけます

お申込み締切り

8月17日(月)17時

抽選の場合、当選者には
メールでご連絡します

お申込みは
こちら



お申込みについて

お申込み方法

WEBから
お申込み



同志社大学東京サテライト・キャンパス
ホームページからお申し込みください。

同志社大学東京サテライト・キャンパス

検索

<https://tokyo-satellite.doshisha.ac.jp/to/entry/entry.html>

スマートフォンからお申込みができます。
二次元コードを読み取ってください。



お申込み手続きや受講に際してのご要望等(座席指定や車いす誘導
など)がございましたらお問い合わせください。

お問い合わせ先



03-6228-7260

受講票の送付はいたしませんのでご注意ください。

写真および動画の撮影はお断りしております。

個人情報の取り扱いについて

お申込みに際してご提供いただく個人情報は、個人情報の保護に関する法律及び本学が定める「個人情報保護の基本方針」、「同志社個人情報保護規程」等に基づき、適正に取り扱います。お預かりした個人情報は、同志社講座ならびに同志社大学からのご案内に利用させていただき、ご本人の同意なく、法令上認められている次の場合を除いて第三者に提供いたしません。

■ご本人の同意を得た場合

■利用目的の達成に必要な範囲内で、同志社大学の業務委託先(再委託先を含みます)に個人情報の取扱いの全部又は一部を委託することに伴って当該個人情報を提供する場合

■上記の他、法令に基づき開示、提供することが求められた場合

同志社大学 東京サテライト・キャンパス

平日9:00~17:00

〒104-0031

東京都中央区京橋2丁目7番19号

京橋イーストビル3階

(中央通り沿い 明治屋ビル向かい 1階にみずほ銀行があります)

TEL:03-6228-7260

FAX:03-6228-7262

E-mail:ji-toky1@mail.doshisha.ac.jp

<https://tokyo-satellite.doshisha.ac.jp/to/>



●JR東京駅 八重洲南口

徒歩6分

●東京メトロ銀座線 京橋駅

6番出口 徒歩1分

●東京メトロ有楽町線

銀座一丁目駅7番出口 徒歩5分

●都営浅草線 宝町駅

A7番出口 徒歩2分